

# 乙女高原が好き！0802号

## 夏は涼しい乙女高原で、案内人と一緒に 乙女高原案内人 夏の自主活動（インタープリテーション）



7月19日、今シーズン初めての案内人活動の日。  
午前中の活動を終え、歓談中の案内人の皆さん。

7月19日から8月31日までの休日、乙女高原案内人が交代で乙女高原に駐在し、乙女高原に来られた皆さんの案内をしてくれます。

案内人は「乙女高原のレンゲツツジとマルハナバチ」をあしらったワッペンをつけています。お気軽に声をお掛けください。案内人が乙女高原にいる時間帯は、おおむね午前10時から午後3時までです。案内料はもちろん無料。

標高1700m、涼しい乙女高原で自然を満喫しませんか？

乙女高原案内人が  
乙女高原にいる日

7月 文月 July						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

マルハナバチ  
調べ隊 10時から

アサギマダラ  
調べ隊 9時から

8月 葉月 August						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

なお、期間中に「アサギマダラ調べ隊」「マルハナバチ調べ隊」という2つの環境教育・環境調査プログラムも行われます。ふるってご参加ください。

**アサギマダラ調べ隊**  
8/3, 31(日) 午前9時から午後1時半  
旅するちょうアサギマダラの羽根に印を付け、また放します。あなたが印を付けたアサギマダラが次はどこで見つかるでしょうか？ 参加費無料。

**マルハナバチ調べ隊**  
8/10(日) 午前10時から午後2時半  
小学校国語の教科書にも登場するマルハナバチとお花たちの不思議な関係を自分の目で観察しましょう。日本のどこにも売っていないマルハナバチのパンフを進呈。参加費無料。

## 第4期 乙女高原案内人，誕生!!

3年ぶり4回目となる乙女高原案内人養成講座。今回は前回までの経験を生かし、だいぶ中身を進化・リニューアルさせて実施しました。大きくリニューアルしたのは以下の3点です。

- 1) 各回の講座を、実習が先(午前)、講義が後(午後)としたこと。体験することの大事さをプログラムにも反映させました。
- 2) 乙女高原案内人がすでに活躍中です。先輩案内人に乙女高原の案内をしてもらい、それを体験するプログラムを導入しました。
- 3) 案内人活動のイメージを膨らませてもらうには、案内人の皆さんのお話を聞くのが一番。そこで、各期からお一人ずつ案内人の代表を選んでいただき、パネルディスカッション風のプログラムを行いました。

20名の申込者が熱心に講座を受講し、19名の新しい案内人が誕生しました。すでに夏の活動でデビューを果たしている方もいらっしゃる、頼もしい限りです。



1日目実習  
乙女高原の自然  
スケッチ・ウッチングで自然を遠くから見てから、3グループに分かれ、先輩案内人の案内で乙女高原の自然を近づいてじっくり観察。これで乙女にハマりました。



2日目実習 乙女高原の地形地質  
講師は時田 恵さん。リュックから出てくる小道具の数々にワクワクしっぱなし。こんな手作りの紙芝居で説明してもらえたら、うれしいよね。



2日目実習 乙女高原の動物  
講師は北垣憲仁さん。なかなか答を教えてくださいませんが、ヒントはたくさん出してくれるので、かえって森に住む動物たちのイメージ(妄想?)が膨らみます。



4日目実習 乙女高原の植物  
講師は宮原孝男さん。地元ならではの植物の呼び方や活用の仕方を優しく教えてくださいました。呼び方には由来があり、その由来はその植物と人々との関わりを表します。



4日目実習  
乙女高原の植物  
講師は小松澤靖さん。カードを使って植物の生きていく条件を考え、それをもとに環境と植物の生態との関係を観察しました。



4日目講義 乙女高原の歴史  
講師は古屋利雄さん。県有林 = 恩賜林の歴史、乙女高原スキー場開設の歴史など、私たちがふまえておきたい土地の記憶を教えてくださいました。

今回、多くの先輩案内人が講師等を務めてくださいました。案内人による活動が活発に行われているからこそ、他所に講師をお願いする必要がありませんでした。

- ・「乙女高原の自然」野外実習(乙女高原の自然案内)(1日目)・・・由井建蔵さん、依田昇さん、内藤邦雄さん、高橋徹さん、小笠原恭子さん、加藤信子さん
- ・「乙女高原案内人になって」のパネラー(1日目)・・・土橋倫子さん、三枝健一さん、原登さん
- ・「インタープリテーション」(1日目)、「自然の保護」講義(2日目)・・・植原
- ・「乙女高原の自然」講義(2日目)・・・高橋徹さん
- ・「乙女高原の歴史」講義(4日目)・・・代表世話人でもある古屋利雄さん
- ・「今後の活動について」のコーディネート(4日目)・・・案内人の会会長でもある坂田英明さん

それだけではありません。多くの先輩案内人の方々がスタッフとして手弁当でこの養成講座を支えてくださいました。本当にありがとうございました。講師等以外で参加された案内人の皆さんのお名前

- ・1日目・・・雨宮浦助さん、石橋純二さん、岡崎 章さん、坂田英明さん、鈴木としえさん、土橋博彦さん、野口美津子さん、古屋利雄さん、依田三枝子さん
- ・2日目・・・雨宮浦助さん、古屋利雄さん、加藤信子さん、坂田英明さん、高橋 徹さん、岡崎 章さん、由井建蔵さん
- ・3日目・・・演習「マルハナバチ調べ隊」は雨のため中止しました。
- ・4日目・・・鈴木としえさん、加藤信子さん、原登さん、由井建蔵さん、小口勝子さん、岡崎 章さん  
(細心の注意を払って記録したつもりですが、「名前がない」という方、ご連絡ください)

#### 【受講生の1日目の声から・・・】

- ・皆さんいろいろご存知なので、自分が案内人として活動できるのか不安になりました。
- ・とても楽しく、自然観察について目からうろこの話も聞けてよかったです。
- ・自然観察だけでなく、普段の生活においても注意深く見る習慣は役に立つと思います。
- ・この会独特のテンポでゆったり学べました。ありがとうございました。これからもよろしく願います。
- ・楽しかった、野外はまだ花があまり咲いていないので淋しい。
- ・すばらしいフィールドで今後の講座等楽しみです。

#### 【受講生の2日目の声から・・・】

- ・今までで自然保護、自然観察のさらに異なった？見解理解ができて大変よかったです。乙女高原を理解しつつ、自宅の周りの自然にもよりよい見方ができると思います。
- ・時田さん、北垣さん、それぞれ専門分野が乙女高原の保全に重大な役割をになっていること実感！！
- ・講義2「自然活動の保護」だけ3なのは私がまだ充分理解できない段階だと言うことで、植原さんの講義のせいではありません。一人になってよく考えてみます。時間を下さい。
- ・実習が非常に楽しい幸せな時間だった。ただ時間も限られていたためあっという間に終わってしまい、難しくてもっとゆっくり聞きたい部分もあった。モザイク状の環境 具体的な場所を歩いてみたいです。
- ・植物関係を中心に観察していたので、地質や動物についての観察眼ができてよかった。
- ・午前の2つの実習はとても楽しく勉強になりました。答えを教えてくれないということでとても頭を使いました。レンゲツツジもきれいでした。午後の講義も難しい話もありましたが、1日とても充実していたと思います。

## なんと雪のために延期! 遊歩道づくり!!



乙女高原ファンクラブができて以来初めて延期



受付後ロープ張りの実習。先生は武井 貢さん

延期なんて、遊歩道づくりばかりかファンクラブ・市・県の共催事業で初めてです。

5月11日。その日、乙女高原は「雨」ではなく「雪」でした。天候不順の場合は、ぼくが6時半までに乙女高原に行って、状況を把握したうえで、市・県の担当者と相談して「やるか・やらないか」を決めることになっていました。よほどざんざん降りでない限り、決行するつもりでいましたが、5時に起き、乙女に急ぐと…焼山峠のあたりから、ちらほらと白いところが見え始め、乙女高原の草原では草原全体が真っ白になっていました。道路を歩いてみると、所々滑ります。深いところで雪は5センチも積もっていました。これから天気は回復し午後からは曇りだと天気予報では言っていましたが、これでは中止しかない—と、市や県の担当の方と相談して、「中止・延期」としました。

中止になったことを知らずにいらっしゃる方がいることは十分予測できるので、しばらくは乙女に留まることにしました。留まるんだったら、草原内を歩き回ろうと、雨具を着て、季節はずれの雪景色の写真を撮ろうと歩き出すと…車が駐車場に入ってきます。急いで駆けつけ、中止したことを伝えました。それで帰ってしまわれた方もいたのですが、何人かは名残惜しそうにそこに残って、雑談しています。そんな方がだんだん増え、8人になったところで「せっかく来たんだから、この人数でできることをやるじゃん」という意見が出てきました。もう今日は中止すると決めたので、やるわけにはいきませんが、協議の結果、作業の下準備を自主的に行う…ということになり、働いていただきました。

延期した5月18日。延期したにもかかわらず、61名もの方々が参加してくださいました。参加された皆さんもですが、県や市では、職員のやりくりもたいへんだったと思います。

18日は天気心配をしないでもよい天気予報でした。行く途中、ラショウモンカズラの花盛りを発見。思わず車を止めて写真を撮っていたら、マルハナバチがやってきました。開会 1 時間半前に草原に着き、さっそくロッジの鍵を開けてストーブに点火したり、品々を並べたりと準備をしました。

いつものようにスタッフの打ち合わせをしている間に、参加者の皆さんが続々と到着。去年も大勢で参加して下さった(株)田丸グリーン基金や山梨ロータリークラブの皆さんが、今年もたくさん参加してくださいました。受付けの時点で班分けをし、参加者の皆さん一人一人に班のカードを持っていただきました。受付けを済ませた方からロープ張りの練習です。1年ぶりで忘れていても、一度、やると思い出すもんですね。先生はいつもオシャレな武井貢さんです。

はじめの会終了後、班長さんが参加者をいくつかのグループにさらに分け、分担して仕事を開始しました。大勢だったので、多くの方にゴミ拾いをしていただけました。ロープを張ってしまうと、おいそれとは草原の中に入れなくなってしまうので、今日、ゴミ拾いしておくことはとても大切なのです。

仕事はどんどん進み、お昼前には完璧に終わってしまいました。全員で記念写真を撮り、終わりの会をしました。

## こんなにいっぱい、いろんなシダがあるんだ!!

あいにくの雨でしたが、なんと17人もの参加者があ  
りました。今日はロジは借りていないので、裏の炊  
事場をお借りして、講師の岡部さんからシダの話  
を聞きました。岡部さんは、(もちろん保護の対象にな  
っていない場所から)いくつかのシダを採集して、持  
ってきてくださいました。それらを実際に見ながら  
研修しました。シダ植物の生活史、各部位の呼び方、  
分類の仕方などを、資料を使いながら丁寧に教え  
ていただきました。

次に、歩きながら、実際にシダを観察しました。「  
ここに2種類のシダが生えているのですが、分かります  
か?」草原の中に生えている、そんなに大きくない  
シダです。最初のうちは「見えてきません」でしたが、  
一生懸命に見ているうちに、両者の違いがだんだん  
わかってきました。なんだか、ピンボケの写真がだ  
んだん鮮明になっていくようで、おもしろかった  
です。ヘビネゴザとヒメシダの2種類でした。蛇の  
寝ござなんておもしろいネーミングですね。草  
原の中にはミステリーサークルを作るヤマドリ  
ゼンマイもあります。このシダはそれぞれの葉に  
胞子ができるのではなく、胞子を作る専用の葉  
ができます。茶色に見える、葉らしからぬのが  
そうです。胞子葉というそうで、それを観察し  
ました。

湿地への遊歩道を進むうちに、まるで株立ちにな  
っているように生えていたのはシラネワラビとい  
うそうです。1枚の葉の一番下の下側の小葉群が  
大きく、全体的に楕円形に見えました。スター  
ウォーズに出てきそうな巨大な力強い株を作る  
のはオシダ、そのミニ版



乙女なシダたち

みたいなのがミヤマクマワラビ、1枚の葉の  
一番下の小葉群が下向きで、まるでへの字の  
ように見えるのはミヤマワラビ。

大きな岩にはコケシノブ、ノキシノブ、イヌシダ  
などが付いていました。小さなイチヨウの葉が  
沢山付いているように見えるオウレンシダや  
コウヤワラビも見ることができました。

しまいには、シダばかりが目につくようになって  
しまいました。楽しい研修会でした。



草原のヒメシダ 株になるシラネワラビ きれいな輪ミヤマクマワラビ 岩にノキシノブ

## 卵・幼虫が見つかったよ, アサギマダラ

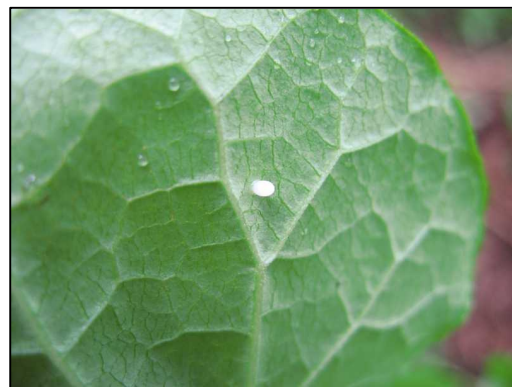


1月の乙女高原フォーラム「乙女にも来るよ, 海を渡るちょうアサギマダラ」を皮切りに, 今年の乙女高原は「アサギマダラ・イヤー」になっています。8月にはアサギマダラのマーキング調査(いったん捕まえて印を付けて, また放つ。次はどこでそのチョウが見つかるか?)を予定していますが, その前に, 会員限定で幼虫調査しようということになりました。

第1回目は6月22日のシダ研修会の後。まずは担当の高橋さんが, ご自分が撮った美しい写真を拡大・ラミネートしたスペシャル紙しばいを使って, アサギマダラの特徴や育ち方を説明してく

れました。やっぱり自分が撮った写真を使って説明するのは, 臨場感がありますね。

その後, 高橋さんがアサギマダラの卵を見つけた場所に移動して, みんなでアサギマダラの卵を見つけました。乙女高原ではアサギマダラの幼虫はイケマというツル植物の葉を食べます。ですから, イケマの葉をそっとひっくり返すと, 卵が見つかる...かもしれないというわけです。みんな続々と卵を見つけました。アサギマダラの卵は白くて, ちょっとした楕円形で, 表面に細かい筋が付いていて, とてもきれいでした。



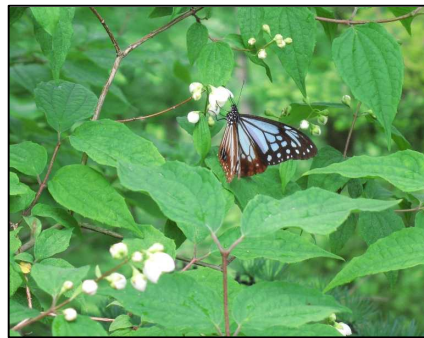
第2回目は7月6日。6人で, 前回の卵がどうなったか確かめました。1齢幼虫や2齢幼虫が見つかりました。また, 成虫がバイカウツギの花に止って吸蜜する姿をバッチリ見ることができました。



1 齢幼虫



2 齢幼虫



バイカウツギに来た成虫オス



### (株)田丸グリーン基金より活動協力費をいただく

(株)田丸グリーン基金は, (株)田丸の社員の給料の一部と会社の利益を「社内環境税」として地元の自然保護団体に寄付する社内制度です。乙女高原ファンクラブは毎年, 多額の活動協力費をいただいておりますが, それを会員の皆さんに披露する機会がなかったので, 今回は5月18日の遊歩道作りの後にセレモニーを行いました。(株)田丸グリーン基金の皆さん, 毎年, ありがとうございます。

## 学校でのインタープリテーション

乙女高原の自然を次の世代に確実に譲り渡すため(乙女高原ファンクラブの目的)には、乙女高原の自然を守るのと同じくらい、次の世代に乙女高原の価値(かけがえのなさ)を伝えることが大事です。なぜなら、今、いくら乙女高原の自然が守れたとしても、次の世代が乙女高原の自然を大切にしなければ乙女高原の自然は守られないからです。「自然」とともに「人の心」を耕すことが重要なのです。

学校・特に小中学校には、地域のほとんどの子どもたちが通います、ですから、乙女高原ファンクラブは創設当時から学校との協働を重要視してきました。特に乙女高原案内人の養成を始めてからは、案内人活動の柱の一つとして取り組んできました。

塩山高校1学年の総合学習の一環として、乙女高原での取り組みをお話しする機会は、5年目となります。今年は高橋さんを中心に、竹居さん、加藤さんに行っていただき、パソコンの画像を大写しにしながらお話ししていただきました。

山梨市牧丘町内には第一から第三まで3つの小学校があり、夏に乙女高原で自然教室を開催しています。昨年までは第一、第二小学校の案内をさせていただきましたが、今年は初めて第三小学校からも依頼がきました。「これで牧丘の全小学校制覇!!」と喜んでいたら、第一小学校が自然教室の開催場所をハヶ岳少年自然の家に変えてしまいました。先生方が様々な条件を勘案して決定したことですし、私たちが外野からとやかく言うことではありませんが、せっかく自分たちの地域に乙女高原という素晴らしい環境教育のフィールドがあり、そこに、まかないこそありませんがグリーンロッジという立派な宿泊施設もあるのに、もったいないなあと思いました。

自然教室実施後、第三小学校の先生から、ごていねいなお手紙をいただきましたので紹介します。

本校の自然教室にかかわって、お忙しい中、本当にありがとうございました。先週(30日)、無事に終えることができました。当日は肌寒い天候でしたが、坂田さん、内藤さん、竹居さんには分かりやすく興味深い話をしていただき、子ども達はもちろん、わたしもとても参考になりました。本当にありがとうございました。

また、急遽、峡東CATVが取材に来て、自然教室の様子を撮影しました。7月くらいには放映されると思いますので、時間がありましたらご覧ください。今後とも、どうぞよろしく願います。

塩山高校 総合学習(塩山高校にて) 5月21日 13:35-15:30 1年生  
担当案内人 高橋 徹さん、竹居小枝子さん、加藤信子さん

牧丘第三小学校 自然教室 5月30日 9:40-12:00 4/5/6年生 計17名  
担当案内人 坂田英明さん、内藤邦雄さん、竹居小枝子さん

牧丘第二小学校 自然教室 7月3日 13:30-15:00 4/5年生 計17名  
担当案内人 竹居小枝子さん、内藤邦雄さん、由井建蔵さん、臼井 豊さん



### (株)マイカル石和サティより備品をいただく

(株)マイカル石和サティでは、毎月11日にレシートを黄色い紙にし、買い物をしたお客さんが応援したい団体のポストに投函すると、レシート額の1%をマイカルがその団体に寄付するという「幸せの黄色いレシート・キャンペーン」を行っています。

その2007年度分として4月13日に30,800円分の備品(アサギマダラ調査用の捕虫網、フィルム、ペン)をいただきました。

今年度から寄付金をいただいた方のお名前は年に一度、4月にお送りするニュースレターで一括してご報告します。したがって、今号には掲載しておりません。

# 乙女高原ファンクラブの事務局だよ

## 新着情報

乙女高原ファンクラブの世話人会は原則毎月第3水曜日夜7時半から、牧丘町総合会館で行っています。どなたでも参加できますので、ぜひ一度、のぞいてみてください。

次回は9月10日(水) 午後7時半からです。

マルハナバチ調べ隊第1日目(6月29日)は雨のため中止しました。でも、雨の中、8名も集まってくれたので、マルハナバチの紙芝居やマルハナバチの解説パネルを見ていただき、草原の中をゆっくり散策しました。

今年も生態系モニタリング調査の一環としてテンの糞サンプリングを行っています。糞からテンたちのその時その時の食事を再現し、テンという動物を通じた乙女高原の環境評価をします。

今年度も(株)マイカル石和サティでは「黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。買うものがありましたら、できるだけ11日に石和サティで。そして、レシートはファンクラブに。

乙女高原でお昼ご飯に困ったことはありませんか？ 柳平の金峰山荘(元分校の向かい)では「高原のバーベキュー」を1600円を出ししているそうです。要予約 電話 0553-35-4375

ファンクラブの最新情報についてはウェブサイトをご覧ください。

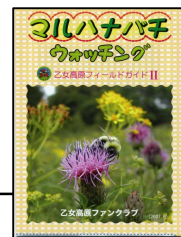


### 乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』(A4判186ページ)乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1000円、送料は一冊につき80円。欲しい方は郵便振込で一冊につき1080円分を送金してください。

### マルハナバチの観察と調査のおともに『マルハナバチ ウォッチング』

(A3判両面カラー)マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。欲しい方は事務局までご連絡ください。



## 乙女高原ファンクラブの普通会員になりませんか？

乙女高原ファンクラブの会員には普通会員とサポーター会員の2種類があります。会報(ニュースレター)は年4回発行予定です。4月号は普通会員・サポーター会員の両方に送りましたが、今号も含め、あとの3号は普通会員にしか送りません。乙女高原での活動を多くの方に知ってもらいたいので、できるだけ普通会員での入会をお勧めください。会員が増えることで、乙女高原を守りたいというファンクラブの発言権も強くなります。

### 乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」と、入会のご意志を事務局まで届けてくだされば、いつでも、だれでも会員になれます。ファックス、メール、手紙が確実です。
- ・入会金も年会費もありません。
- ・普通会員には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会員には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。
- ・そして・・・、乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。

## 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnet.ne.jp  
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。  
WEB <http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 0220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ